

《知》意欲的に学び、課題に粘り強く取り組む児童
《徳》社会のルール・学校のきまりを守り、
礼儀正しく思いやりのある児童
《体》心身ともに健康で、命を大切にする児童

せんだん

珠洲市立上戸小学校
学校だより 第719号
令和7年2月25日

アフリカン・シンフォニー

小学生の時、ピアノを習っていました。そんなに積極的ではなかったです。当時、男の子でピアノ教室に行くのは、珍しかったです。小学6年生だったかバイエルくらいが終わったぐらいで止めました。そんなに上手に弾けるようにはならなかったけれど、音符や楽譜に対する知識理解についてだいたいの理屈を知りました。

初任の時の初めての職員会議で、どの教科を受け持つかという話し合いがあって、その時に、少しのピアノなら弾けるということで、音楽も担当することになりました。それ以来、毎年、音楽を受け持つようになりました。

2年目に、学校の鼓笛隊指導の担当になりました。まったく指導した経験がないため、本当に大変でした。それにもかかわらず、この鼓笛隊指導の担当はずっと続けました。教員生活の半分以上は赴任した学校の鼓笛隊指導の担当をしていました。

その当時、仕事以外では、地域の青年団の先輩からアマチュアバンドに誘われ、キーボードを担当しました。時は1990年代。若者がバンドで演奏する曲目には、シンセサイザーの音が不可欠でした。だから、私も実力に見合わないような高額なキーボード（シンセサイザー）を買いました（買わされました）。とても下手くそでしたが、小さなイベントで出演することが決まると、練習せざるを得ません。アマチュアバンドの活動をしながら、練習の大変さ、本番の大変さや、仲間と音を合わせる楽しさを体験しました。その中で、いわゆるポップス系、バンド系の音楽にはどんな楽器編成があり、どんな機材が必要で、どんな調整が必要かなどを知りました。

その流れで、DTM（デスクトップミュージックいわゆるコンピューターミュージック）も知るようになります。これは、学校の鼓笛隊の指導に使えることが、すぐにわかりました。

鼓笛隊の指導をするということは、まず、楽器演奏を指導することになります。その時に、演奏が仕上がったらこんな曲になるという完成した演奏、つまりデモ演奏を子ども達にはじめに聴かせられれば、とても効果的です。さらに、各パートのメロディーが強調された音楽を、そのパートの子ども達に配付できれば、それぞれのパートの子ども達は、それを聴きながら練習することができます。教師がつきっきりで、指導する手間を少し省くことができます。

その当時の自分（20代～30代）は、各パートのメロディーの音源（カセットテープやCD）を作って渡すことを目指して奮闘しました。

はじめのころは、シーケンサー（演奏データを「記録」「再生」できる機器）と音源となるキーボードで、デモ演奏を作成し、それを、カセットテープに録音し

て、それを子ども達に配付していました。それらのデータを打ち込むのはとても手間暇がかかりました。打ち込んで、シーケンサーが自動的に音楽を奏でたとしても、それを録音するのはカセットテープです。つまりコンピューターミュージックの部分はデジタルでも音声の部分はまったくのアナログでした。元版のカセットテープを作ったあとは、ダブルカセットデッキでひたすらダビングを繰り返すというものでした。ゴールデンウィークの間中、デモ音楽作成、テープに録音するということをしていた記憶があります。

しかし、技術の発達はどんどん進みます。2000年代になるとそれらはノートPCの中ですべてできるようになっていきます。打ち込んだコンピューターミュージックのデータをCDに焼き付けることのできる音声データに変換できるようになりました。音楽を奏でるシーケンスの部分もそし音声の部分もすべてデジタルで処理できるようになったのです。それが、約20年前です。それ以来、音声データをCDに焼いて子ども達に配付するようになりました。

今では、音声データをCDに焼いて、配付することはありません。作成した音声データをクラウド上にアップすれば、子ども達は、自分のパートの音声を自分の端末（クロムブック）で聞くことができます。



6年生を送る会の全校合奏で「アフリカン・シンフォニー」という曲に取り組みました。いろいろな難度の楽譜があるのですが、最も難しいレベルの楽譜に取り組みました。デモ演奏を作り、各パートのデモ音源も作り、児童用のクラウドにアップしました。

小学校高学年の児童50人以上の大編成で行うような曲です。上戸小学校全校児童23人で（その内半数以上は3年生以下）、果たしてできるのかどうか。12月の初旬から練習を開始しました。はじめは不安でしたが、こちらの心配をよそに、上戸小学校の子ども達は、どんどん上手くなっていきました。2月21日が6年生を送る会でしたが、すでに、1月の終わりごろにはだいたい仕上がってしまいました。上戸小の先生方の指導のお陰でもあります。本番では、すばらしい演奏を披露することができました。上戸小の子ども達は、本当によくがんばりました。誇らしく思います。

スキー・そり遠足 2月4日

柳田植物公園でスキーそり遠足を行いました。降雪量も十分で、とても良いコンディションで実施することができました。初めてスキーを履いたという子もいました。当初は恐る恐る滑っていましたが、だんだんと慣れてきて、終わり頃にはみんな上手になりました。スキー・そりの活動を通して冬の里山の自然もたっぷり体験しました。



凧作り（1・2年生） 2月5日

1・2年生が朗生会の方々と一緒に凧作りを行いました。雪の多い日でしたが、たくさんの朗生会の方に来ていただきました。できあがった凧は体育館で走ってあげました。朗生会の皆様、誠にありがとうございました。



珠洲市の震災を知ろうの会〔PTA特別行事〕 2月11日

地震で助けてくださった方々の思いを知ることを通して、あらためて防災について考える会がPTA主催により開催されました。避難所での活動やボランティアの方の活動を知ることや防災クイズを通して、災害への備えについて保護者と児童が共に考え、今後の安全・安心へつなげました。そして児童一人一人にPTAよりソーラー・ランタンが配付されました。



6年生を送る会・すこやか会修了式 2月21日



全校合奏

6年生を送る会を日頃とてもお世話になっている来賓の皆様、地域の皆様、保護者の皆様をお招きして行いました。全校児童23人の小さな学校ですが、とても盛りだくさんな内容の会となりました。児童の出し物だけでなくPTA合奏や職員合奏もありました。どの出し物も良く工夫されていて、レベルが高いものばかりでした。最後の全校児童による「アフリカン・シンフォニー」はアンコールがとまらず、もう1回演奏しました。「感動した」という声がよく聞かれました。子ども達が力を出し切った6年生を送る会でした。保護者の皆様、地域の皆様、ありがとうございました。



PTA合奏

読売新聞 第5回 KODOMO 俳壇大賞

まつたけ派? 僕はなめこ派 負けないぞ 6年 家根 大翔

※年間の俳句の中で最も優れた句として選ばれました!

日中韓作品交流展

優秀賞 6年 徳力 海来 (書)
5年 福田 彩蓮 (絵画)

ベルマーク 50万点達成!

長年のベルマーク収集の取組により、累計50万点を達成しベルマーク教育助成財団より表彰されました。地域の皆様、保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。



3月 行事予定

4日(火)	・全校朝会
5日(水)	・委員会
14日(金)	・5限目まで(14:40 下校) ・俳句教室
17日(月)	・卒業式予行練習 ・5限目まで(14:40 下校)
18日(火)	・卒業式(10時開式)
21日(金)	・5限目まで(14:40 下校)
24日(月)	・修了式 ・離任式
25日(火)	・春休み ~4月6日

1 年生

ふゆといえば

ふゆといえば、クリスマスだとおもいます。12月になったら、サンタさんがプレゼントをもってきてくれるので、うれしいです。まえのクリスマスには、すみっこぐらしのとけいをもらいました。

(一宮 美月)

ふゆといえば、シチューです。ぼくは、たまねぎとにんじんがすきです。いつもシチューをたべると、からだがほかほかになります。シチューをたべおわると、からだがあたたかくて、ソファーにいて、なぜかねてしまいます。

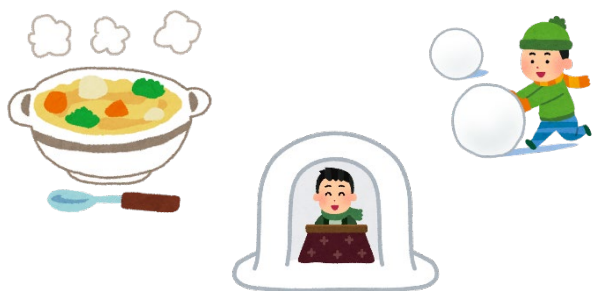
(加藤 優宗)

ふゆといえば、ゆきです。ぼくは、ゆきでかまくらをつくってみたいです。1回だけ、ゆきだるまをつくってみました。中くらのゆきだるまでした。そとでみんなであそんでたのしかったです。また、あそびたいです。

(中野 秀有司)

ふゆといえば、バレンタインだとおもいます。バレンタインに、ともだちからチョコレートをもraitたいとおもっています。おかあさんからもチョコレートをもraitたいです。ぼくは、チョコレートアイスがたべたいです。

(吉森 晴)



2 年生

そり遠足

今日、スキーそり遠足がありました。少しさむかったけど、楽しかったです。わたしは、そりですべってみると、とってもはやくすべることができました。おべんとうもおいしかったです。

(吾郷 友梨奈)

今日は、スキーそり遠足でそりをしました。ちょっとさむかったけど、楽しかったです。ゆりなさんといっしょにすべった時、とてもはやかかったです。すべるのは楽しかったけど、あがる時はつかれました。

(角 珠々葉)

今日、楽しかったことは、そり遠足に行つてあそんだことです。そりで二人のりもしたし、一人でのって、みんなで、きょうそうしたことがとても楽しいと思いました。高いところから、はやいいきおいできょうそうするのが、一番楽しかったです。また、来年もやりたいし、来年もしできたら、スキーをがんばりたいです。

(三上 咲良)

今日、スキーそり遠足に行きました。レースが一番楽しかったです。いっぱいーいになりました。来年来るときは、スキーなので、楽しみです。

(角野 晴隆)

今日、そり遠足に行きました。わたしは、みんなでレースをしたのが、一番楽しかったです。おべんとうもおいしかったです。さむかったけど、また3年生になったらがんばりたいです。

(柚 みつめ)

3・4年生

スキー遠足の感想より

初めてだったけれどとてもうまくすべれました。さいしょは転んだりしっぱいしたりばかりだったけれど、たくさんやればやるほどうまくなってきて楽しくなりました。
(川端 純怜)

雪の中ふぶきで前が見えなかったけど、あきらめずにゴールまで行けました。教えてくれた人が「じょうずだね。」と言ってくれてうれしかったです。
(鷲 初叶)

さいしょは不安だったけど、だんだん楽しくなってきました。さいしょはまっすぐすべりました。かんたんでした。次に右や左に曲がる練習をしました。足に体重をかけてすべります。
(三上 寛太)

何回も何回も転びましたが、やっていくうちにだんだんすべれるようになりました。さいごの方にはじょうずにできて、もっとがんばってやってみようと思いました。
(寺下 蓮輝)

スキーは初心者なので最初は不安でした。教えてくれた人が「かたかなのハの字」ですべると言っていました。最初は少し失敗したけどだんだん上手にできました。
(中野 煌有司)

何回もくり返しいると「もう終わるよー。」という声がして「あと1回がんばるぞ。」と思っていたら、さいごのさいごに今までで1番よくすべることができたのでうれしかったです。
(吉森 心)

わたしがうまくなっていくにつれて、藤森スクールカウンセラーさんが「うまくなったね。」と言ってくれるので、「もっとうまくなってもっとほめられたいな。」という気持ちになりました。
(吾郷 梨愛奈)

「すべることができる」という気持ちがとちゅうから出てきて、あきらめずに失敗してもがんばってすべることができました。勇気を心の中にもっていたのですべることができました。
(紺谷 洸斗)

5・6年生

冬の楽しみ

冬の楽しみはこたつの中で温かいものを食べることです。特に鍋がしたいです。わたしはお母さんが作ってくれる鳥野菜が好きです。今年、一度食べたけれど、寒さが続くので、この後も鳥野菜を食べて体を温めます。
(加須屋 依里)

冬の楽しみはスキーです。毎年スキーをしに出かけています。今年はスノーボードにも挑戦する予定です。難しいとは思いますが、上手に滑ることができるように頑張りたいと思います。
(三上 逢海)

冬の楽しみはこたつの中でゲームをすることです。こたつの中でゲームをすると2倍集中することができます。冬には、雪が降って外出があまりできないので、あたたかい家の中で遊ぶのがいいと思います。
(福田 彩蓮)

冬の楽しみは雪だるま作りです。去年は雪があまり降らず、作ることができなかったのですが、今年は挑戦したいです。もし作るなら、高さ2メートルの雪だるまを作りたいです。
(谷内口 優月)

冬の楽しみは雪合戦です。理由は冬にしかできない遊びだし、みんなで楽しめる遊びだと思ったからです。また、かまくらも作ってみたいです。去年は途中であきらめてしまったので、今年は完成させたいです。
(家根 大翔)

ぼくの冬の楽しみは6年生を送る会です。6年生を送る会では、劇でみんなを笑わせたいし、アフリカンシンフォニーの演奏で、お家の方を感動させたいからです。練習の成果を発揮できるように頑張ります。
(徳力 海来)